

施策評価表

平成28年度分

| | | | | | |
|---------|---|-------|--|------|------|
| ① 施策コード | 7・1・1 | | | | |
| ② 施策名 | 観光交流人口の拡大を支える施設の充実 | 評価担当課 | 商工観光課 | 総合戦略 | 行政経営 |
| | | | | ○ | 過疎 |
| ③ 目標 | 観光交流人口（暦年） | | | | |
| ④ 現状と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 近年、ライフスタイルや価値観の変化にもとまって、観光の形態やニーズが多様化しており、従来の「見る」観光に加え、地域固有の資源を生かした「体験・交流する」観光の需要が高まっています。 ◆ 本町の主な観光資源は、「蔵の郷土館齋理屋敷」、「不動尊公園キャンプ場」、「阿武隈ライン舟下り」などがあり、自然や歴史に触れることができるものが中心です。このほかに町では、「いきいき交流センター大内」、「八雄館」、「手しごと館」、「滞在型市民農園」といった観光・交流の拠点となる施設を整備し、丸森型グリーン・ツーリズムの推進に努めてきました。 ◆ 平成25年から開催されている「サイクルフェスタ丸森」は、県内外からの参加者が集まり「丸森の自然と人の交流が楽しめる」と自転車愛好家から注目されているイベントの一つとなっています。 ◆ 今後も、豊かな自然や歴史・文化が育んできた地域資源を生かし、交流人口の拡大と、それに伴う経済的な波及効果へ結びつけることが重要となります。また、観光産業だけではなく、様々な産業の人が関わり地域全体で観光客を受け入れていく仕組みづくりも必要です。 | 施策の内容 | 平成26年度策定の「丸森町交流人口70万人計画」に基づき、「国民宿舎あぶくま荘」や「蔵の郷土館齋理屋敷」、「不動尊公園キャンプ場」等の既存施設の再整備を行うほか、新たに施設を整備することも検討しながら交流人口の回復増加と地域活性化を目指します。 | | |

⑥ 目標指標

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 目標値(上段)・実績値(下段) | | | | |
|---------------------|----|---------|-----------------|---------|---------|---------|---------|
| | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 |
| 国民宿舎あぶくま荘利用者数(暦年) | 千人 | 65 | 60 | 61 | 63 | 65 | 67 |
| 来遊者満足度(施設整備、宣伝充実など) | % | 73.9 | 77.6 | 78.0 | 78.5 | 79.0 | 80.0 |
| まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI | 単位 | 基準値 | 目標値(上段)・実績値(下段) | | | | |
| | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 |
| 観光交流人口 | 人 | 570,000 | 618,941 | 630,000 | 640,000 | 650,000 | 660,000 |
| | | | 576,724 | | | | |

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

| | | | | | |
|-----------------|--------|--------|----------|----------|----------|
| ⑦ 構成事務事業の事業費の合計 | 27年度 | 28年度 | 29年度(計画) | 30年度(計画) | 31年度(計画) |
| | 81,673 | 74,434 | 88,247 | 104,000 | 173,500 |

1年間の取組の総括

| | |
|--|---|
| ⑧ 1年間の主な取組と成果 | 町主要催事である、齋理幻夜、サイクルフェスタ丸森を中心に順調な集客をはかることができた。 町観光の基礎であるグリーン・ツーリズムも地味ながら着実に集客につながっている。 7月に(一財)丸森町観光物産振興公社に「丸森“こらいん”ツーリスト」が誕生し、着地型旅行商品の企画・販売が可能となり、早速ツアーを催行できるようになるなどの成果を得た。 |
| ⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定) | ◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要 |

今後の取組

| | |
|---------|--|
| ⑩ 今後の取組 | 町はもとより、公社をはじめとする観光関連機関、実際に観光客を受け入れる実践者の皆様等との連携により事業に取り組む体制に変更の予定はない。 丸森“こらいん”ツーリストがもたらした新たな効果を活かしながら更なる誘客をはかり、交流人口70万人を達成したい。 |
|---------|--|

| | | |
|------------------|----------|---|
| ⑪ 次年度以降の方針(主担当課) | 見直しのうえ継続 | 【説明欄】 あぶくま荘建替えのための検討を行う。 |
| 委員会評価 | 見直しのうえ継続 | 【委員会意見欄】 関係機関との連携等により、交流人口拡大に向け推進すること。 あぶくま荘建替えのための検討を行うこと。 |